

## 会 報

### 平成17年度第3回日本公衆衛生学会理事会議事録

- I. 日 時 平成17年 8月31日(金)13:30~15:00
- II. 場 所 東京厚生年金会館
- III. 出席者 理事長 多田羅浩三  
 理 事 相澤好治 入山文郎  
 遠藤 明 大井田隆  
 小林廉毅 近藤健文  
 實成文彦 篠崎英夫  
 嶋本 喬 伊達ちぐさ  
 中原俊隆 松田 朗  
 村嶋幸代 (14名)  
 監 事 宮武光吉 (1名)
- 委任状提出者  
 学会長 岸 玲子  
 副会長 飯塚弘志 太田 博  
 宮田睦彦 (3名)  
 理 事 阿彦忠之 梅田 勝  
 角野文彦 金川克子  
 佐藤 洋 澁谷いづみ  
 新庄文明 中川秀昭  
 納谷敦夫 藤田利治  
 三角順一 (11名)  
 監 事 能勢隆之 (1名)

オブザーバー

関根道和(富山医科薬科大学 講師)

現在理事数29人,出席者14人,委任状提出者15人  
 学会規定第13条第1項による定数に達したので,多田羅浩三理事長が議長となり開会を宣した。議事に先立ち多田羅理事長から挨拶があった。

厚生労働省の人事異動に伴い,指名理事が瀬上清貴氏から梅田 勝氏に交代した旨の報告があった。

#### 議事録署名人選出

議事録署名人に,近藤健文,大井田隆,両理事が指名された。

#### 議 事

##### 第1号議案 第64回(平成17年度)日本公衆衛生学会総会について

岸 玲子学会長が欠席のため近藤健文理事長から,学会総会開催の準備は順調に進んでいるとの説明があった。

以上により,本議案は了承された。

##### 第2号議案 第65回(平成18年度)日本公衆衛生学会総会について

鏡森定信次期学会長が欠席のため,富山医科薬科大学の関根道和講師から以下の説明があった。

1. 広報活動で使用されるポスターの説明。
2. 第64回総会には富山県,富山市,大学の担当者7名で視察する。
3. 第64回総会終了後,実行委員会を開催する予定である。

以上により,本議案は了承された。

##### 第3号議案 第66回(平成19年度)日本公衆衛生学会総会について

多田羅理事長から第66回総会について,学会長は愛媛大学の小西正光教授にお願いし,愛媛県松山市で実施することとしたい旨の説明があり,了承された。

本議案は新理事会に報告し,評議員会(9月13日開催)に諮ることとした。

##### 第4号議案 新理事会への引継事項について

多田羅理事長から新理事会への引継事項を委員会報告も含めて確認し,新理事会に申し送ることとした。

##### 1. 編集委員会

小林廉毅担当理事から次のとおり説明があった。

今期の主な事項は,①学会機関誌50巻記念事業を実施した。②査読の短縮化を図った。③英文号を51巻から年1回発行した。④掲載料に対する学会補助を増額した。⑤投稿規定の改正,著作権委譲承諾書に著者全員の署名の必須化,連絡者を投稿論文責任著者とするの変更および研究遂行に関する利害関係の開示の必須化を決めた。⑥論文採択後,著者同意書の作成を義務づけた。⑦6か月以上経過した再投稿論文についての取扱を明確にした。

申し送り事項としては,査読の短縮化,英文論文の査読体制,6か月以上経過した論文の取り扱いを投稿規定に明確に記載することがあげられた。

平成18年1月から編集委員が,同年4月から査読委員の半数が交代予定である。

##### 2. 公衆衛生研修委員会

大井田隆委員長から次のとおり説明があった。

今期の活動としては①平成15年に臨床研修の指導者の研修を行った。②保健所長の資格要件につ

いて学会としての見解を示した。③本学会の会員の資質向上に関する調査を行った。

申し送り事項として、①IT化検討委員会と連携してホームページの充実。②公衆衛生専門資格制度。③健康危機管理に関する研修。④地方会の充実があげられる。

### 3. 地域保健委員会

阿彦忠之委員長が欠席のため、大井田理事から8月22日開催の委員会報告と今期の活動と今後の課題について説明があった。

8月22日の委員会では相模女子大学の安達修一先生をゲストに迎え、アスベスト問題について講演と意見交換を行った。64回総会で「アスベスト対策」をテーマとした「緊急講演」を開催できるよう準備を進めている。

今期の活動としては①第62回総会においてたばこ対策に関する行動宣言を発表。②国内9学会合同「禁煙ガイドライン」作成班への参加。③「健康日本21」や「健やか親子21」の推進に関する検討、第64回総会で虐待フォーラムの開催。④地域保健の推進体制に関する諸課題の検討を行った。

申し送り事項として、地域における健康危機管理と保健所の役割を含めて、本学会としての提言づくりをめざした検討の継続があげられた。

### 4. 感染症対策委員会

角野文彦委員長が欠席のため大井田理事から報告があった。

今期の活動としては、前半ではSARSに対する対応から今後の感染症対策を学ぶことを目的に「感染症フォーラム」を開催し報告書を作成した。後半ではHIV感染者が増加している日本の実情を明らかにし国民に警鐘を鳴らす目的で64回総会においてフォーラム開催の検討を行った。

申し送り事項としては、我が国の感染症対策を強化する意味で、行政機関はじめ関係者や国民に対して、感染症予防の方向性を示していくことがあげられた。

### 5. IT化検討委員会

中川委員長欠席のため大井田理事から説明があった。

今期の活動として、ホームページの立ち上げと会員名簿の作成がある。

申し送り事項として、①ホームページの充実。②メールを利用した委員間での情報交換。③ホー

ムページの管理の充実があげられた。

6. 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会  
金川克子委員長欠席のため村嶋幸代理事から説明があった。

申し送り事項としては、保健師の基礎教育に焦点を絞り、委員会の他に保健師教育・現任教育等に携わる保健師によるワーキンググループを結成し、ワークショップ3回、フォーラム、自由集会等を開催し、「保健師のコアカリキュラム」を作成した。

今後の課題としては、公衆衛生領域に働く保健師の教育に必要なコアカリキュラムの完成及び普及を図るとともに、現任教育についても検討し、保健師の質の向上を図ることがあげられた。

### 7. 奨励賞、名誉会員について

大井田理事から、今年度の奨励賞受賞者と名誉会員候補者については前理事会で承認されているが、次期理事会に申し送りしたい旨の報告があった。

以上申し送り事項については承認された。

## 報告事項

### 1. 選挙管理委員会報告

岸委員長欠席のため近藤理事から資料を基に理事・理事長選挙の投票状況と理事長、理事の当選人について報告があった。理事選挙の投票率は93%、理事長選挙は95%であった。開票の結果、理事長は香川大学医学部の實成文彦教授が選任された。

### 2. 第2回ゲノム医療情報シンポジウム協賛の依頼について

近藤理事から日本医療情報学会より第2回ゲノム医療情報シンポジウムへの協賛の依頼があり、了承した旨報告があった。

以上で議事を終了し、多田羅理事長が閉会を宣した。

---

## 平成17年度第4回日本公衆衛生学会理事会

- I. 日 時 平成17年9月13日(火)10:00~12:00
- II. 場 所 札幌コンベンションセンター
- III. 出席者 理事長 實成文彦  
           学会長 岸 玲子  
           理 事 相澤好治 足立己幸

阿彦忠之 上島弘嗣  
 梅田 勝 遠藤 明  
 大井田隆 小林廉毅  
 近藤健文 中川秀昭  
 中垣晴男 中村好一  
 本橋 豊 三浦宜彦  
 村嶋幸代 吉田勝美  
 (18名)

監事 宮武光吉 (1名)  
 委任状提出者

副会長 飯塚弘志 太田 博  
 宮田睦彦 (3名)  
 理事 畝 博 角野文彦  
 児玉和紀 篠崎英夫  
 高岡道雄 納谷敦夫  
 平野かよ子 柳川 洋  
 (8名)

監事 能勢隆之  
 オブザーバー

鏡森定信 (富山医科薬科大学教授)

小西正光 (愛媛大学医学部公衆衛生学教授)

以上 理事現在数29名 出席理事18名 委任状提出理事11名

学会規定第13条第1項による定数に達していることを確認の後、實成文彦理事長が議長となり開会を宣した。議事に先立ち實成理事長から新体制に対する抱負と岸学会長はじめ北海道、札幌市、北海道大学等の関係者のみなさんに対する感謝の挨拶があった。

また、新理事による初めての理事会のため、自己紹介を行った。

#### 議事録署名人選出

議事録署名人に、本橋 豊、吉田勝美両理事が指名された承された。

#### 議 事

##### 第1号議案 第64回 (平成17年度) 日本公衆衛生学会総会について

岸 玲子学会長から、今回の総会に対する北海道と札幌市の絶大なる協力と関係者に対するお礼と今回の総会参加への歓迎の挨拶があった。

以上により、本議案は了承された。

##### 第2号議案 第65回 (平成18年度) 日本公衆衛生学会総会について

鏡森定信次期学会長からパワーポイントにより、準備状況について下記のとおり説明があった。

会 期：平成18年10月25日から27日

会 場：富山県民会館 富山国際会議場

テ ー マ：「健康な社会」

特別講演：マイケル・マーモット博士の予定  
 以上により、本議案は了承された。

##### 第3号議案 第66回 (平成19年度) 日本公衆衛生学会総会について

實成理事長から、第66回日本公衆衛生学会総会は、愛媛県松山市で開催し、学会長については愛媛大学医学部教授の小西正光先生にお願いしたい旨の報告があり理事会において了承された。本日午後開催の評議員会、明日開催の総会に諮る旨の提案が了承された。

小西愛媛大学教授から、行政の参加が厳しい状況になっているが、前向きに考え対応していきたい。会期は10月24日から26日、会場は愛媛県県民文化会館を予定している旨の説明があった。

以上により、本議案は了承された。

##### 第4号議案 監事の推薦について

實成理事長から現監事の任期が本総会終了日までのため、新監事として、宮武光吉先生、岡崎勲先生を推薦したい旨提案があり、この理事会において承認され次第、本日午後開催の評議員会に諮りたいとの説明があり、了承された。

##### 第5号議案 評議員会・総会議事について

大井田理事から資料に基づき、評議員会の議事進行と総会議事進行の確認が行われ、原案どおり了承された。

##### 第6号議案 その他

實成理事長から新理事の役割分担と委員会構成について説明があり、下記のとおり理事会で決定し、委員会については評議員会に報告することとなった。

理事長代行 近藤理事

庶務担当 大井田理事 角野理事 吉田理事

会計担当 遠藤理事 中村理事 村嶋理事

広報・IT担当

中川理事 三浦理事 平野理事

編集担当 小林理事 中村理事 吉田理事

名誉会員の推薦

柳川理事 近藤理事

学術担当 柳川理事 岸理事

日本医学会評議員 實成理事長  
 日本医学会連絡委員 岸理事  
 日本医学会用語委員会委員 小林理事  
 委員会  
 編集委員会 次期編集委員長 甲斐一郎

東京大学大学院医学系研究科教授

なお、平成18年1月からの新編集委員会については、次期編集委員長と担当理事が協議して編集委員を選出し、本年12月までに持ち回り理事会の承認を経て、組織することが承認された。

#### 21世紀の公衆衛生研究戦略委員会

柳川理事 岸理事 児玉理事 本橋理事  
 三浦理事

#### 生涯学習・研修委員会

上島理事 足立理事 高岡理事 中垣理事  
 中川理事

#### 地域保健医療福祉委員会

阿彦理事 畝理事 大井田理事 梅田理事  
 納谷理事 角野理事

#### 感染症専門委員会

#### 公衆衛生看護のあり方に関する委員会

村嶋理事 角野理事 平野理事

#### 専門職制度検討委員会

相澤理事 遠藤理事 篠崎理事 足立理事  
 岸理事 中垣理事 村嶋理事 三浦理事

以上のうち、各委員会について、實成理事長から当面理事を中心として委員会を構成し委員長を決める。その後、各委員会で委員の補充に付き検討し、18年1月開催の理事会で補充委員を推薦し理事長が委嘱する旨の提案があり、了承された。

## 報告事項

### 1. 委員会報告

#### 1) 地域保健委員会

阿彦忠之理事から9月15日に開催される緊急講演と虐待フォーラムについて説明があった。

#### 2) 感染症委員会

角野理事欠席のため大井田隆理事から、9月14日開催される感染症フォーラムについて説明があった。

#### 3) 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

村嶋幸代理事から上記委員会の報告書について説明があった。

以上をもって、理事長が閉会を宣した。

次回理事会は平成18年1月13日(金)1時半から東京厚生年金会館で行う。

## 平成17年度日本公衆衛生学会評議員会議事録

- I. 日時 平成17年9月13日(火)13:00~14:30  
 II. 場所 札幌コンベンションセンター中ホールB  
 III. 出席者 75人 委任状提出者 145人  
 合計 220人(現在員数 258人)

事務局から学会規定第15条2項による出席評議員が定足数に達した旨の報告の後、岸玲子学会長が議長となり開会を宣言した。議事に先立ち岸学会長から歓迎の挨拶、實成文彦理事長から新体制の抱負と本総会開催のために協力くださった関係者の皆さんに対する御礼の挨拶があった。

議事録署名人には、望月吉勝評議員と相澤好治理事が指名された。

## 報告事項

### 1. 平成16年度会務報告

大井田庶務担当理事から資料に基づき、学会庶務に関する事項、学会総会、奨励事業、学会機関誌発行等の事業全般について報告があった。

### 2. 委員会報告

#### 1) 編集委員会報告

小林廉毅編集担当理事から次のとおり報告があった。

- 編集委員会は毎月1回開催し、機関誌も順調に発行している。

- 平成16年度の投稿原稿数は和文論文115編、英文論文が16編あった。

- 採用状況は、和文は前年度以前の投稿分をふくめて採用61編、審査継続中101編、不採用35編、著者からの取り消し1編で、英文は採用10編、審査継続中1編、不採用5編であった。

- 掲載論文数は和文80編、英文10編で90編、投稿から掲載までの期間の平均は、和文で13.1月、英文で4.7月であった。

- 投稿から1回目の返事までは和文で3.2月、英文で1.4月となっており、昨年より若干短くなっている。

- 投稿規定の改正を行い、①著作権委譲承諾書に著者全員の署名を必須とした②連絡者を投稿論文

責任著者に改めた③研究遂行に関する利害関係の開示を必須とした。

• 来年1月からの次期編集長は東京大学大学院医学系研究科甲斐一郎教授に決まった。

## 2) 公衆衛生研修委員会

大井田隆委員長から次のとおり報告があった。

• 平成16年度は委員会を2回開催し、15年11月に開催した医師臨床研修「地域保健・医療」研修指導者開発ワークショップの記録を作成した。また、機関誌51巻9号に保健所長の医師資格要件に関する検討についての見解を掲載した。

• ホームページと郵送により「日本公衆衛生学会の今後の活動に関する調査」を行い、結果は機関誌52巻7号に掲載していた。

## 3) 地域保健委員会

阿彦忠之委員長から次のとおり報告があった。

• 平成16年度は委員会を4回開催し、児童虐待対策を主なテーマとして取り組んだ。あさって15日に虐待フォーラムを開催する。

• 他の学会と連携してタバコ対策を行うということで循環器学会が主になり9団体が合同で「禁煙支援ガイドライン」を作成した。この11月に出版予定である。

• 平成17年度の活動となるが、アスベスト問題を取り上げ、明日緊急講演会を開催する。

## 4) 感染症対策委員会

角野文彦委員長欠席のため、阿彦理事から次のとおり報告があった。

• 平成16年度は委員会を6回開催し、「日本のエイズの現状と本学会としての対応」にテーマを絞り検討した。明日、感染症フォーラムにてその成果を報告する。

## 5) 公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会

村嶋幸代理事から次のとおり報告があった。

• 平成16年度は委員会を7回（うちワーキンググループ会議は3回）開催し保健師の人材育成について検討し、63回総会時には「保健師の卒前教育と卒後教育」をテーマにフォーラムを開催した。

• 今年度に入ってから2回ワークショップを開催し、保健師のコアカリキュラムをまとめ、機関誌52巻7号に掲載した。

## 6) IT化検討委員会

中川秀昭委員長から次のとおり報告があった。

平成16年度は委員会を1回開催し、ホームページ

の運営方法と名簿作成について検討した。名簿は2月に発行した。また、公衆衛生研修委員会のホームページによるアンケート調査において、ホームページを利用しての回答が非常に少ないことから、今後ホームページをもっと見ていただけるような内容を検討する必要がある。

## 3. 第12回役員選挙報告

岸選挙管理委員長から次のとおり報告があった。

第12回役員選挙は平成15年度の評議員会で改正された役員選出に関する規定に基づき実施された。選挙日程は告示とおりに執り行われ、新評議員・理事長・理事は評議員会資料のとおりである。

## 4. その他

中富健康科学振興財団の顕彰について

大井田理事より中富健康科学振興財団から平成16年度健康科学の発展に功績のあった研究者として角田文男氏が顕彰された旨の報告があった。

## 議事

### 第1号議案 平成16年度収入支出決算(案)について

遠藤 明会計担当理事から、資料に基づき平成16年度収入支出決算(案)について次のとおり説明があった。

1. 収入は前年度分会費を450万円ほど回収できたが、機関誌51巻11号より著者の掲載料負担を30%としたので会誌掲載料収入は125万円ほど減収している。

2. 支出のうち管理費は予算内で納めることができた。会議等で使用するMDレコーダー、パワーポイントのプロジェクター等そろえたため消耗品費が予算より多く支出された。会員名簿作成費も予算内でできた。調査活動費は活発だったので増額している。IT化関係費は学会総会抄録集の検索ページの作成のため予算より支出が多くなっている。前年度からの繰越金が多かったので、財政調整積立預金に2,000万円支出した。

3. 収支差額3,098,166円は、平成17年度に繰り越すこととする。

宮武光吉監事から平成16年度収入支出決算に係る監査報告がなされた。

以上の説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

### 第2号議案 平成18年度収入支出予算(案)ならびに平成18年度事業計画(案)について

遠藤理事から、資料に基づき平成18年度収入支出予算(案)について次のとおり説明があった。

平成18年度収入支出予算については平成16年度の実績に基づき編成した。

1. 会員数を8,400人で会費収入を見込んだ。その他収入としては、備品購入積立預金取崩収入、選挙費用積立預金取崩収入がなくなるため、支出とあわせるため財政調整積立金預金を800万円取り崩すこととした。

2. 支出は、奨励事業費が副賞の増額をしたので150万円増額、委員会活動とフォーラム等研修事業と経費を分ける事になり、調査活動費400万円、研修費を200万円とした。

大井田理事から平成18年度の事業計画(案)について第65回学会総会、奨励事業、会誌の発行について説明があり、實成理事長から委員会としては編集委員会の他に、21世紀の公衆衛生研究戦略委員会、生涯学習・研修委員会、地域保健医療福祉委員会(感染症専門委員会)、公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会、専門職制度検討委員会の設置の説明があった。

以上の説明の後、

京都大学大学院の中原俊隆教授から、専門職制度から見て、スクールオブパブリックヘルスといわれている大学院制度は明確な位置づけをしないと従来の主張はとまらないという危機感をもっての発言があった。

富山医科薬科大学の鏡森定信教授からは、アスベスト問題についても大学の中だけでは何十年も一貫して研究は続けられない実態がある。行政の健康政策を評価することができるような委員会活動をしたいとの発言があった。

審議の結果、原案どおり承認された。

### 第3号議案 監事の推薦について

實成理事長から監事の任期が本総会で終了になるため、先程の理事会で新監事として(勸歯科医療研修振興財団の)宮武光吉先生と(東海大学医学部の)岡崎勲先生が推薦された。

審議の結果、原案どおり承認された。

### 第4号議案 名誉会員の推薦について

近藤健文名誉会員担当理事から、理事会で承認された次の4人を名誉会員に推薦したい旨の提案があった。

小澤秀樹氏、滝澤行雄氏、西 正美氏、古市圭

治氏

以上の説明の後、審議の結果 承認され、明日開催の総会に諮ることになった。

### 第5号議案 第66回(平成19年度)日本公衆衛生学会総会について

實成理事長から、平成19年度の第66回学会総会は愛媛大学医学部環境社会医学講座公衆衛生学分野教授の小西正光先生に学会長をお願いし、愛媛県松山市において開催したい旨提案があり、承認され、明日開催の総会に諮ることとなった。

なお、副学会長については学会長ならびに理事会に一任された。

以上で議事を終り、鏡森次期学会長、および次々期学会長(予定)小西正光愛媛大学医学部教授から挨拶があった後、議長が閉会を宣した。

## 平成17年度日本公衆衛生学会総会議事録

I. 日 時 平成17年9月14日(水)11:30~11:50

II. 場 所 札幌コンベンションセンター大ホール

学会規定第19条により岸 玲子学会長が議長となり開会を宣した。

総会議事に先立ち實成文彦理事長から、岸学会長をはじめ北海道、札幌市、北海道大学等関係者に対する謝辞を含めた挨拶があったのち、議事に入った。

## III. 議 事

### 会務報告

大井田隆庶務担当理事から、平成16年度の学会会員、名誉会員、役員会等の庶務に関する事項、会誌の発行状況、平成16年度の収支決算について一括報告がなされ、収支決算については会誌に掲載する旨の報告があった。

宮武光吉監事から監査報告があった。

引き続き、大井田理事から昨日の評議員会で承認された平成18年度事業計画、平成18年度収入支出予算について報告があった。

### 第1号議案 名誉会員の推薦について

實成理事長から、学会規定に基づく名誉会員の推薦内規により選考された次の4名の方々について、名誉会員に推薦したい旨提案があり、略歴が紹介され、満場一致で承認された。

小澤 秀樹氏 学校法人金蘭会学園理事

滝澤 行雄氏 熊本県水俣市助役  
西 正美氏 財団法人石川県成人病予防センター理事長  
古市 圭治氏 財団法人日本産業廃棄物処理振興センター理事長

## 第2号議案 第66回（平成19年）日本公衆衛生学会総会について

實成理事長から、来年の第65回学会総会は平成18年10月25日から3日間、鏡森定信富山医科薬科大学教授に学会長をお願いして開催する旨報告があった。

平成19年の第66回学会総会については、昨日の評議員会の推薦に基づき、学会長は小西正光愛媛大学医学部教授をお願いし、愛媛県松山市におい

て開催したい旨提案がなされ、満場一致で承認された。なお、副学会長については学会長ならびに理事会に一任された。

京都府立医科大学の渡辺能行教授から、学会総会を開催するにあたり、開催地にはかなりの経済的負担をかけているように思う。学会としてこの点を考えて欲しい旨の要望があった。

實成理事長から、開催地の負担については理事会でも議論されているところで、今後いろいろな可能性を含めて検討を続けるつもりであるとの回答があった。

以上で総会の審議を終了し、鏡森次期学会長と小西次々期学会長から挨拶があった後、議長が閉会を宣した。

## 収 支 計 算 書

平成16年4月1日から17年3月31日まで

(単位:円)

科 目	平成16年度 予 算	決算額	差 異	備 考
(収入の部)				
1 会費収入	63,600,000	69,424,000	5,824,000	8千円×8,678人 (16年度8,116人・64,928,000) (15年度562人・4,496,000)
2 会誌掲載料収入	5,500,000	4,236,230	△1,263,770	日本公衆衛生雑誌への掲載料
3 会誌投稿料収入	650,000	670,000	20,000	日本公衆衛生雑誌への投稿料
4 会誌広告料収入	1,800,000	1,062,000	△738,000	日本公衆衛生雑誌の広告料
5 助成金収入	200,000	200,000	0	日本医学会
6 雑誌販売収入	1,200,000	1,524,600	324,600	
7 特定預金取崩収入	6,000,000	2,000,961	△3,999,039	
会員名簿積立預金取崩収入	6,000,000	2,000,961	△3,999,039	
8 雑収入	800,000	1,594,888	794,888	雑誌データ利用許諾料金, 利息等
当期収入合計(A)	79,750,000	80,712,679	962,679	
前年度からの繰越金	21,308,777	21,308,777	0	
収入合計(B)	101,058,777	102,021,456	962,679	
(支出の部)				
管理費	26,830,000	26,549,989	280,011	
1 会議費	600,000	386,800	213,200	
1) 理事会費	400,000	280,400	119,600	会場費, 資料作成費等
2) 評議員会費	100,000	78,960	21,040	資料作成費等
3) 会議費	100,000	27,440	72,560	
2 旅費交通費	2,200,000	2,235,030	△35,030	役員, 職員旅費
1) 理事会出席旅費	1,600,000	1,461,500	138,500	
2) その他旅費交通費	600,000	773,530	△173,530	
3 通信運搬費	1,300,000	1,212,020	87,980	事務用郵便料, 電話料
4 消耗品費	350,000	934,831	△584,831	事務用消耗品費
5 印刷製本費	600,000	398,880	201,120	
6 賃借料	100,000	0	100,000	総会時コンピューター
7 支払手数料	600,000	606,520	△6,520	会費払込料金(加入者負担)等
8 諸謝金	800,000	466,620	333,380	理事会謝金
9 事務委託費	19,880,000	19,880,000	0	日本公衆衛生協会
10 雑費	400,000	429,288	△29,288	保守料(パソコン・プリンター)
事業費	52,010,000	47,898,334	4,111,666	
1 奨励事業費	400,000	533,159	△133,159	表彰, 選考賞等
2 会誌発行費	43,610,000	38,580,511	5,029,489	
1) 編集費	5,110,000	4,124,337	985,663	編集委員会費用, 査読依頼費等
(1) 会議費	300,000	315,450	△15,450	
(2) 旅費交通費	1,300,000	668,440	631,560	
(3) 通信運搬費	900,000	801,965	98,035	
(4) 消耗品費	100,000	15,181	84,819	
(5) 印刷製本費	710,000	836,235	△126,235	
(6) 諸謝金	1,800,000	1,487,066	312,934	
2) 会誌作成発送費	32,500,000	28,656,212	3,843,788	
(1) 印刷製本費	22,000,000	19,424,921	2,575,079	製本費, 版下作成費等
(2) 通信運搬費	10,000,000	8,754,508	1,245,492	
(3) 雑費	500,000	476,783	23,217	発送用ラベル
3) 会員名簿作成費	6,000,000	5,799,962	200,038	
3 調査活動費	5,000,000	5,784,664	△784,664	委員会活動費
4 総会負担金	3,000,000	3,000,000	0	総会負担金
選挙関係費	500,000	906,927	△406,927	会議費等・印刷費(葉書等)
IT化関係費	2,500,000	3,568,040	△1,068,040	
特定積立預金支出	10,000	20,000,000	△19,990,000	
1) 財政調整積立預金支出	0	20,000,000	△20,000,000	
2) 利息繰入金	10,000	0	10,000	
予備費	400,000	0	400,000	
当期支出合計(C)	82,250,000	98,923,290	△16,673,290	
当期収支差額(A)-(C)	△2,500,000	△18,210,611	△15,710,611	
次期繰越収支差額(B)-(C)	18,808,777	3,098,166	△15,710,611	



## 貸借対照表

平成17年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	474,772	
普通預金	2,724,938	
振替貯金	2,623,516	
未収入金	629,595	
前払金	3,000,000	
流動資産合計		9,452,821
2 固定資産		
総会運営基金	3,532,902	
選挙費用積立預金	2,725,011	
備品購入等積立預金	6,970,698	
財政調整積立預金	64,143,090	
固定資産合計		77,371,701
資産合計		86,824,522
II 負債の部		
流動負債		
未払金	4,031,455	
前受金	2,323,200	
流動負債合計		6,354,655
負債合計		6,354,655
III 正味財産の部		
正味財産		80,469,867
(内 当期正味財産増加分)		△399,938
負債及び正味財産合計		86,824,522

## 積立預金収支の部

平成17年3月31日現在

## 1) 総会運営基金 (単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	3,532,052	次年度繰越金	3,532,902
受取利息	850		
計	3,532,902	計	3,532,902

## 2) 選挙費用積立預金 (単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,725,407	残高証明書手数料	420
受取利息	24	次年度繰越金	2,725,011
計	2,725,431	計	2,725,431

## 3) 備品購入等積立預金 (単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	6,969,028	次年度繰越金	6,970,698
受取利息	1,670		
計	6,970,698	計	6,970,698

## 4) 会員名簿積立預金 (単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,000,481	取崩額	2,000,961
受取利息	480	次年度繰越金	0
計	2,000,961	計	0

## 5) 財政調整積立預金 (単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	44,132,494	次年度繰越金	64,143,090
16年度繰入金	20,000,000		
受取利息	10,596		
計	64,143,090	計	64,143,090

## 財 産 目 録

平成17年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額
(資産の部)		
I 流動資産		
1 現金・預金		
現金	現金手許有高	474,772
普通預金	三井住友銀行新宿通支店	2,724,938
振替預金		2,623,516
2 未収入金		
掲載料	3月号他掲載料	537,595
広告料	3月号他広告料	92,000
3 前払金	第64回総会事務局	3,000,000
	流動資産合計	9,452,821
II 固定資産		
総会運営基金	三井住友銀行新宿通支店	3,532,902
選挙費用積立預金	UFJ 信託銀行新宿支店	2,725,011
備品購入積立預金	三井住友銀行新宿通支店	6,970,698
財政調整積立預金	三井住友銀行東京公務部	64,143,090
	固定資産合計	77,371,701
	資 産 合 計	86,824,522
(負債の部)		
I 流動負債		
1 未払金	3月号印刷・発送	4,031,455
2 前受金	17年度会費他	2,323,200
	流動負債合計	6,354,655
	負 債 合 計	6,354,655
	正 味 財 産	80,469,867

## 平成16年度監査報告書

平成16年度日本公衆衛生学会事業報告書（案）及び収入支出決算書（案）に基づいて会計帳簿、証憑書類、預金通帳、関係書類等をもとに監査した結果、業務ならびに会計処理が適正に運営・管理され、資産が貸借対照表どおりに管理されていることを確認したので報告します。

平成17年 6月30日

監事  
宮 武 光 吉  
監事  
能 勢 隆 之